

調査レポート

2015年7~9月期のGDP(2次速報)予測

12月8日公表予定の2015年7~9月期の実質GDP成長率(2次速報値)は前期比+0.1%と予想され、1次速報値の同-0.2%から上方修正される見込みである(年率換算値では-0.8%から+0.5%に上方修正)。プラス成長に転じたとしても小幅であり、引き続き景気がと横ばい圏内にとどまっているとの評価に変更はない。

需要項目別の内訳をみると、7~9月期の法人企業統計の結果を受けて、設備投資が1次速報値の前期比-1.3%から同+1.3%にやや大きめに上方修正されることが大きい。一方、1次速報値でマイナス寄与度が大きかった在庫投資については、大きな修正はない見込みである。また、公共投資は、9月の建設総合統計の結果を勘案すると、前期比-0.3%から同-1.2%に下方修正されると考えられる。その他の需要項目は1次速報値と大きくは変わらないであろう。

	2014年			2015年			前期比(%)	
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	7-9 (1次)	変化幅 (%ポイント)
実質GDP	-2.0	-0.3	0.3	1.1	-0.2	0.1	-0.2	0.3
同(年率)	-7.7	-1.1	1.2	4.6	-0.7	0.5	-0.8	1.3
同(前年同期比)	-0.4	-1.4	-0.9	-0.8	1.0	1.4	1.0	0.4
内需寄与度(*)	-2.9	-0.3	-0.0	1.2	0.0	0.0	-0.3	0.3
個人消費	-5.0	0.2	0.4	0.4	-0.6	0.5	0.5	0.0
住宅投資	-10.5	-6.8	-0.7	2.0	2.4	1.9	1.9	0.0
設備投資	-4.4	0.3	0.0	2.4	-1.2	1.3	-1.3	2.6
民間在庫(*)	1.2	-0.5	-0.3	0.5	0.3	-0.5	-0.5	-0.0
政府最終消費	0.0	0.3	0.3	0.3	0.6	0.3	0.3	0.0
公共投資	0.4	1.7	0.2	-1.3	2.1	-1.2	-0.3	-0.8
外需寄与度(*)	0.9	0.1	0.3	-0.0	-0.2	0.1	0.1	0.0
輸出	0.4	1.6	2.9	1.9	-4.3	2.6	2.6	0.0
輸入	-4.2	1.1	0.9	1.9	-2.8	1.7	1.7	0.0
名目GDP	0.1	-0.5	0.7	2.2	0.2	0.3	0.0	0.3
同(年率)	0.5	-1.9	2.7	9.0	0.6	1.3	0.1	1.3
同(前年同期比)	1.8	0.6	1.4	2.6	2.5	3.4	3.1	0.3
GDPデフレーター (前年同期比)	2.1	2.1	2.3	3.5	1.5	2.0	2.0	-0.0

(注)内需寄与度、民間在庫、外需寄与度は実質GDPに対する寄与度(出所)内閣府「四半期別GDP速報」

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

調査部 小林 真一郎 (chosa-report@murc.jp)

〒105-8501 東京都港区虎ノ門5-11-2

TEL:03-6733-1070

12月8日公表予定の2015年7~9月期の実質GDP成長率(2次速報値)は、前期比では1次速報値の-0.2%から+0.1%に上方修正される見込みである(年率換算値では-0.8%から0.5%に上方修正)。プラス成長に転じたとしても、プラス幅は小さく、引き続き景気がと横ばい圏内にとどまっているとの評価に変更はない。プラスに転じる主因は、設備投資が1次速報値の前期比-1.3%から同+1.3%にやや大きめに上方修正されることであるが、4~6月期にマイナスであったことを勘案すると設備投資の勢いは決して強くはない。

名目GDP成長率も前期比+0.0%から+0.3%に上方修正される見込みである(年率換算値では+0.1%から+1.3%に上方修正)。GDPデフレーターは1次速報値の前年比+2.0%から修正はないだろう。

主な需要項目別の動向(実質ベース)は以下の通りである。

- ・ 個人消費、住宅投資は、その後発表された統計を勘案しても、大きな修正はない見込みである。
- ・ 民間企業設備投資は、需要サイドの統計である7~9月期の法人企業統計において、季節調整済み設備投資の前期比の伸びが+5.4%と製造業を中心に増加したことから推測すると、1次速報値の前期比-1.3%から同+1.3%へ、やや大きめに上方修正されるであろう。
- ・ 在庫投資は、7~9月期の法人企業統計の結果を踏まえると、実質GDPに対する前期比寄与度は、1次速報値の-0.5%から修正されない見込みである。
- ・ 公共投資は、9月の建設総合統計の結果を反映すると、1次速報値の前期比-0.3%から同-1.2%に下方修正されると予想される。
- ・ 政府最終消費、輸出及び輸入については1次速報値からほとんど変更はないとみられる。

- ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡下さい。